

ニューヨークタイムズが不機嫌な目をしたみさ坊に注目

美郷町アンバサダー「みさ坊」についての記事がニューヨークタイムズに掲載されました。みさ坊の写真と一緒に、ゆるキャラブームが下火の中、奮闘するみさ坊と職員の取り組み、ゆるキャラグランプリでのみさ坊の様子等掲載されています。

【ニューヨークタイムズ】

高級日刊新聞としてアメリカ国内第3位の発行部数(48万部)

【掲載】

ニューヨークタイムズアメリカ版

ニューヨークタイムズアジア版

ウェブ版▼

<https://www.nytimes.com/2020/02/16/business/japan-mascots.html>

【記事概要】※大まかな直訳です。

(見出し)おもしろマスコットが溢れている日本で、この不機嫌そうなイノシシは生き残れるか？

数年前、日本の多くの自治体は、地域のPRのためご当地キャラを製作し「くまもん」のような爆発的な経済効果をもたらすゆるキャラも誕生した。しかし、現在ゆるキャラブームは下火になってきている。そんな状況の中、島根県美郷町のご当地キャラ「みさ坊」と職員たちは、あえてキャラクターを活用したPRに取り組んでいた。

「みさ坊」と職員たちは、youtubeチャンネルをはじめ、「みさ坊サンバ」を作成しお披露目、ラインスタンプを作成するなど様々な取り組みを行った。また、美郷町長が、「成果がでなければ解雇する」とみさ坊に通告する内容の記者会見を開いたところ、その様子はNHKやソーシャルメディアに取り上げられ一時話題となった。

ゆるキャラグランプリ2019では、縄跳び競技で上位を獲得するなど頑張りを見せ、トップになることはできなかったものの、最終的に24位にランクインした。みさ坊は、町長をひとまず満足させ、生き残ることができた。



【問い合わせ】

美郷暮らし推進課

TEL:0855-75-1212